



Question

冷房運転の方が除湿運転より
除湿できるの？



Answer

除湿量が多いのは冷房運転ですが、同時に室温も下がります。
気温が高く蒸し暑い時期は冷房運転、梅雨など室温を保ちたい時期は
除湿運転など、目的に合わせたご使用をおすすめします。

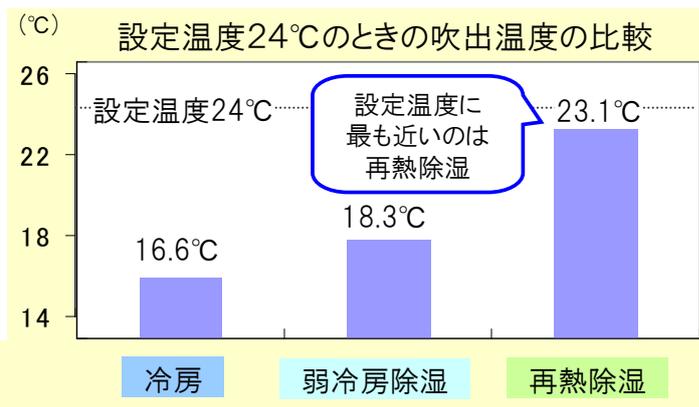
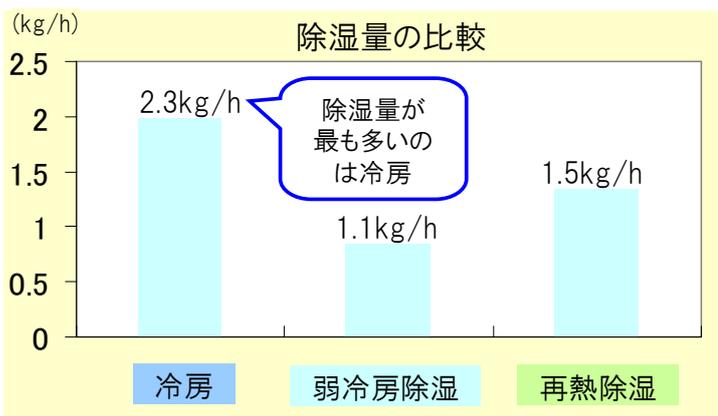


■除湿運転には「弱冷房除湿」、「再熱除湿」の2方式があります。*

同じ設定温度で「冷房運転」、「弱冷房除湿」、「再熱除湿」の除湿量と吹出温度を比べてみました。

※ それぞれの方式を採用している2台のエアコンを使用しました。

なお、主に本体価格がお手頃な機種に「弱冷房除湿」が採用されています。2方式を使い分け可能な機種もあります。



除湿量、吹出温度の比較

	◎ 最も多い	△ あまり多くない	○ 多い
除湿量			
吹出温度	最も下がる	少し下がる	あまり下がらない
	冷房	弱冷房除湿	再熱除湿

- ・「冷房」は、室温を下げることを優先しながら、同時に除湿も行います。
- ・「弱冷房除湿」は、室温をなるべく下げないよう弱めの冷房運転で除湿を行います。除湿量は少なめですが、電気代を抑えられます。
- ・「再熱除湿」は、冷房運転でしっかり除湿しつつ、部分的に暖房運転を行うことで室温低下を防ぎます。電気代が少し高めですが、肌寒い時期などに快適性を保てます。

【試験期間】2002年11月～12月

【実施箇所】東京電力 技術開発研究所

【試験機種】冷房能力2.8kWエアコン(MSZ-PXV28K(再熱除湿・冷房)COP4.95、MSZ-GXV28K(弱冷房)COP4.91両機種とも三菱電機(株))

【試験条件】人工環境試験室内で室内・室外温度24℃、湿度80%に設定

(c)東京電力